

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ		
題名・副題	手作り顕微鏡でミクロの世界を見てみよう（細胞編） ～細胞ってな～に？～		
月日・時間	2019年2月2日（土） 10:00～12:00		
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・1階 会議室		
部会・講師名	廃棄物部会・自然環境部会 石井 栄	参加数	3名
		講師数	4名
写真			
	光の屈折など授業内容を説明	被写体のタマネギに染色	
			
	プレパラードに被写体をセット	細胞核が見えたよ	
成果解説	<p>この教室は、今年度3回目の手作り顕微鏡の教室。被写体は、これまで観察した花粉、気孔に続く「細胞」が今回のテーマです。始めに、光の直進、反射、屈折する性質について学んだ後、小さな物を拡大して見るためにはどんなものがあるか、クイズを交えて考え、ルーペ、水を満たしたペットボトル、ビー玉、水滴などを使って実験で確認しました。</p> <p>光の屈折現象について、今回は、魚が光の屈折現象を理解している例としてテッポウウオの話をしました。水上の木の枝や空中を飛んでいる昆虫を、水中から狙って水鉄砲のように撃ち落として捕食するお話です（水中と空中との境界で光が屈折する現象）。</p> <p>顕微鏡の工作は、小径の球レンズと成型紙製角管のホルダーとプレパラートで自分の手で作りました。観察試料の染色として今回は、イソジンを使用してタマネギを染色する試みも子どもたちにトライしてもらいました。</p> <p>この手作り顕微鏡は、小型であるため、何時でも何処でも誰でも簡単に作れて、身の回りにある物を拡大して観察することができるので、子どもたちをミクロの世界へ誘う教室として実施しています。</p>		